

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 施工手順は、「Gフレーム 取付説明書（E248）G取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

**注意**

- 施工工事の担当範囲に未施工箇所がないことを十分に確認したうえで、取付説明書を次工程の担当者に渡してください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

<施工上のご注意 つづき>

ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事についてのご注意>

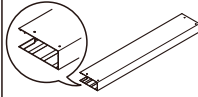


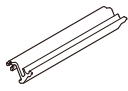
注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。


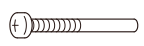



ポイント

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

【1】 ゲートフレーム横セット

名 称	略 図	員 数	
		W30	W60
ゲートフレーム 横		1	1
ゲートフレーム用スリーブ		4	4
フレーム受け		1	3
固定用ヒンジ		1	3

【1】 ゲートフレーム横セット（つづき）

名 称	略 図	員 数	
		W30	W60
M4樹脂ワッシャー		2	6
【1-1】 φ5×80ナベタッピン ネジ2種 G=40		1	3
【1-2】 φ5×70ナベドリル ネジ		16	16
【1-3】 φ4×12トラス タッピンネジ2種		2	6
【1-4】 φ5×16ナベドリル ネジ		6	10
取付説明書 Gフレーム ゲートフレーム〈E300〉	-	1	1

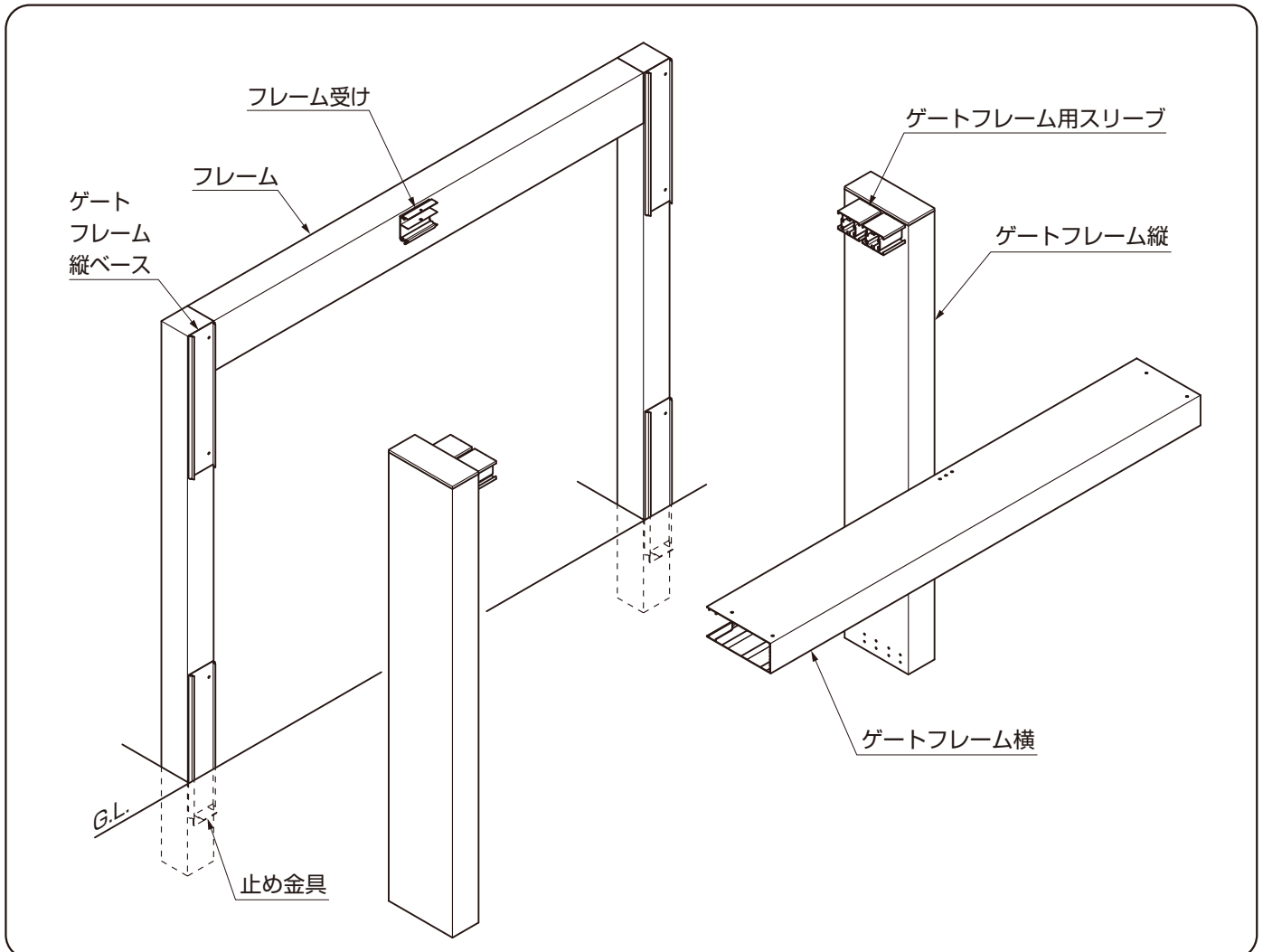
【2】ゲートフレーム縦セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
ゲートフレーム 縦		1	1
ゲートフレーム縦ベース		2	2
止め金具		1	1
【2-1】 φ4×12 トラスタッピンネジ3種 D=8		8	8
【2-2】 φ4×13 ナベ (PAN) ドリルネジ D=8.2		2	2

【3】220フレーム端部キャップセット

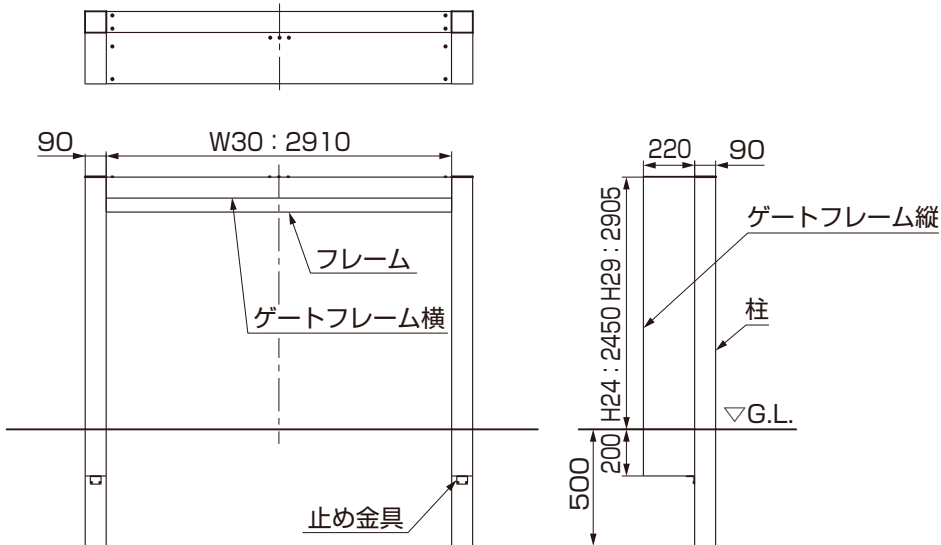
名 称	略 図	員 数
220フレーム端部キャップ		1
【3-1】 φ5×16 ナベタッピンネジ3種 D=9		4

1. 各部名称

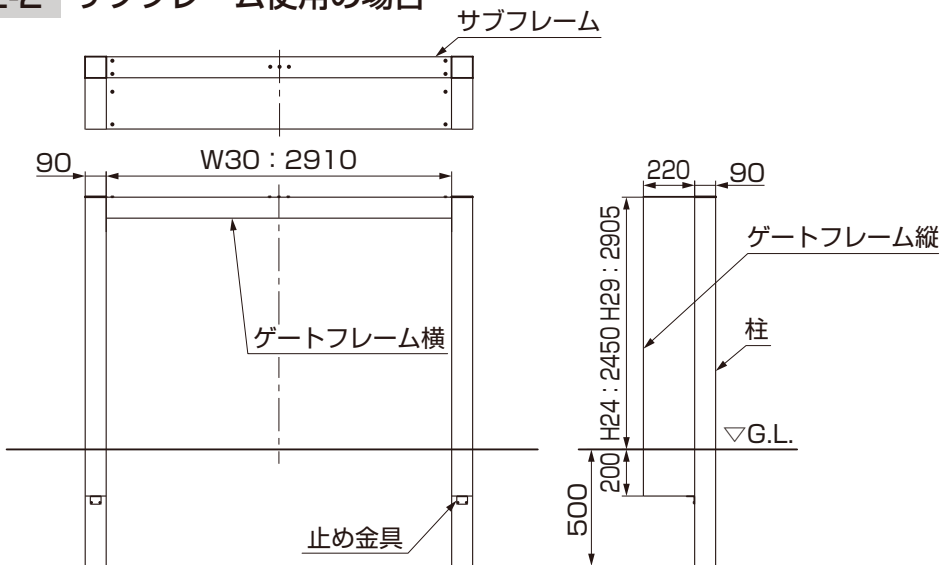


2. 基本寸法図

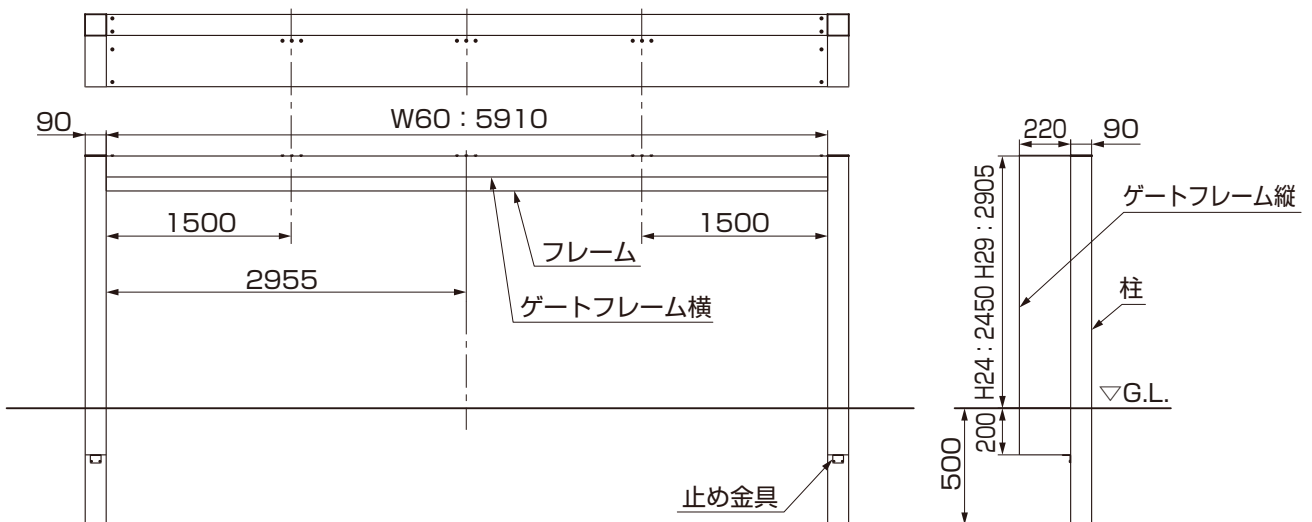
2-1 フレーム使用の場合



2-2 サブフレーム使用の場合

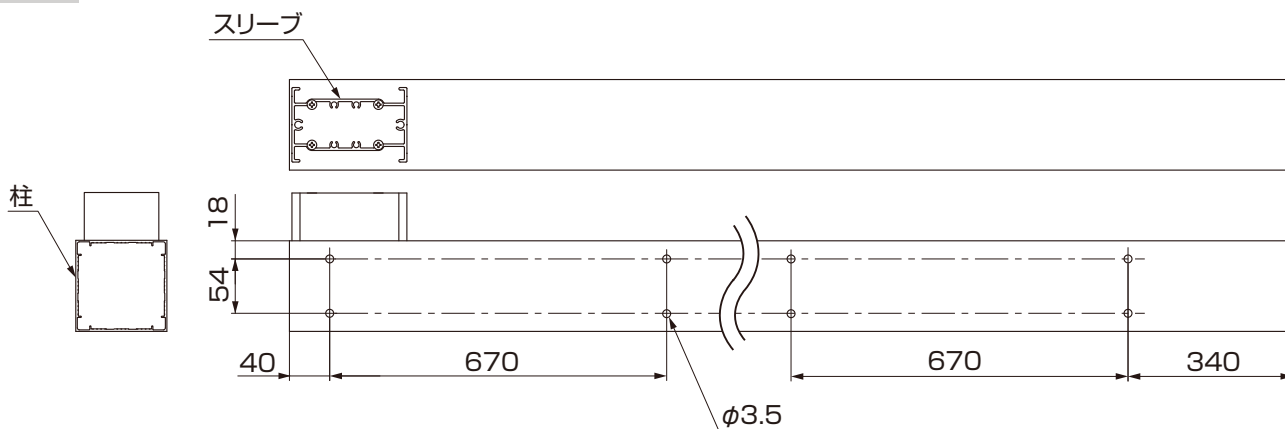


2-3 フレームW60+ゲートフレーム横W60の場合



3. 柱の施工準備

3-1 柱の加工



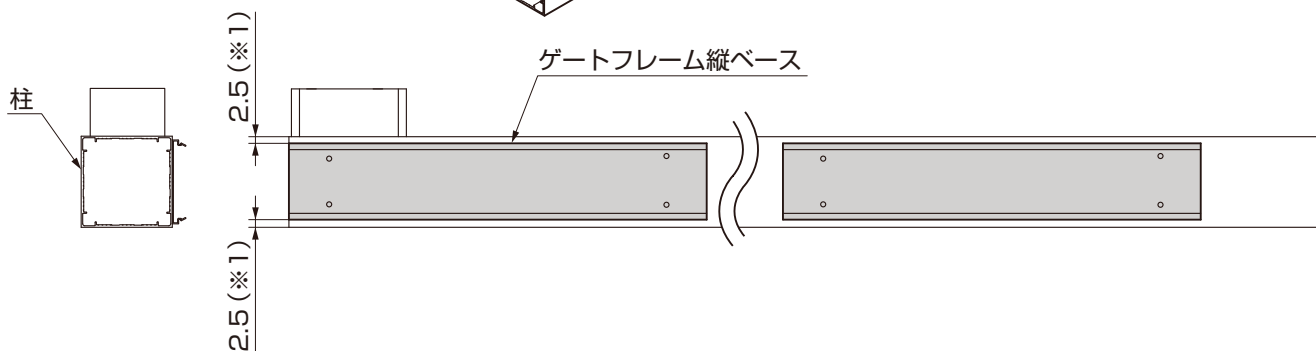
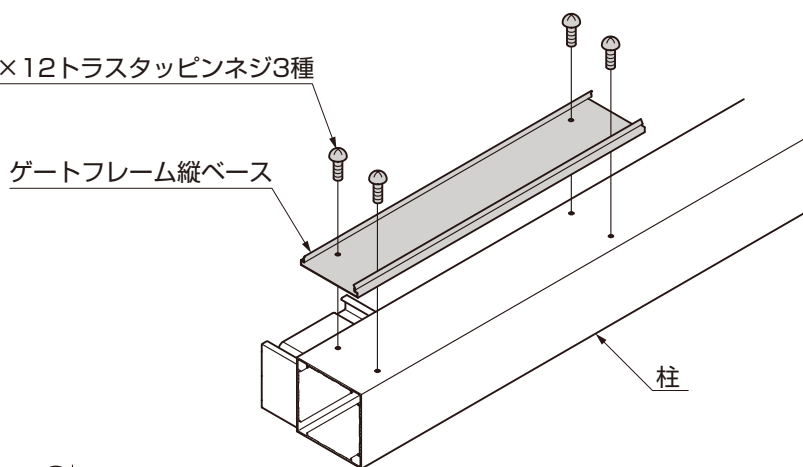
①柱にゲートフレーム縦ベース取付け用のφ3.5の穴をあけてください。

ポイント

- スリーブの取付けは「Gフレーム 取付説明書 (E248)」を参考に取付けてください。
- 穴をあける際は左右に気をつけてください。図は左側の場合です。
- 穴加工後、ヤスリでバリの除去を行なってください。

3-2 ゲートフレーム縦ベースの取付け

【2-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種



①ゲートフレーム縦ベースを柱に【2-1】で取付けてください。

ポイント

- ※1の寸法が2.5mmであることを必ず確認してください。

3. (つづき)

3-3 フレーム端部キャップの取付け

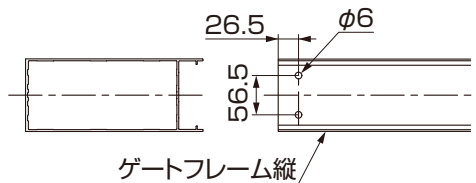


図3-1

【3-1】φ5×16ナベタッピンネジ3種

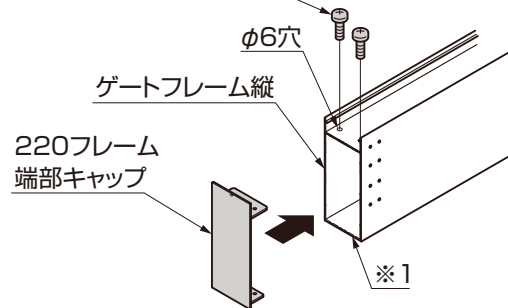


図3-2

- ①ゲートフレーム縦にφ6の穴をあけてください。(図3-1参照)
- ②フレーム端部キャップをフレーム縦に【3-1】で取付けてください。

補足

- *1の面からのフレーム端部キャップ取付けは行ないません。

3-4 ゲートフレーム縦の取付け

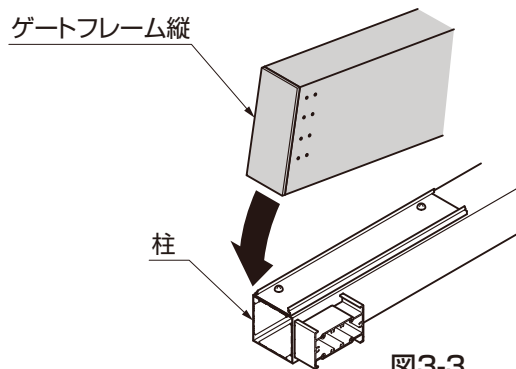


図3-3

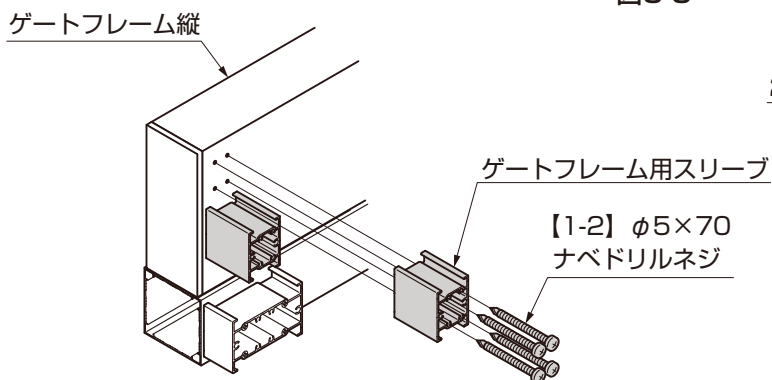


図3-4

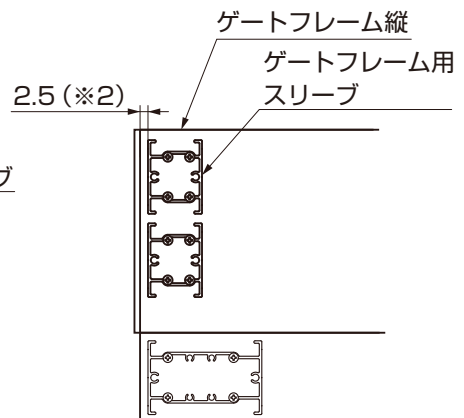


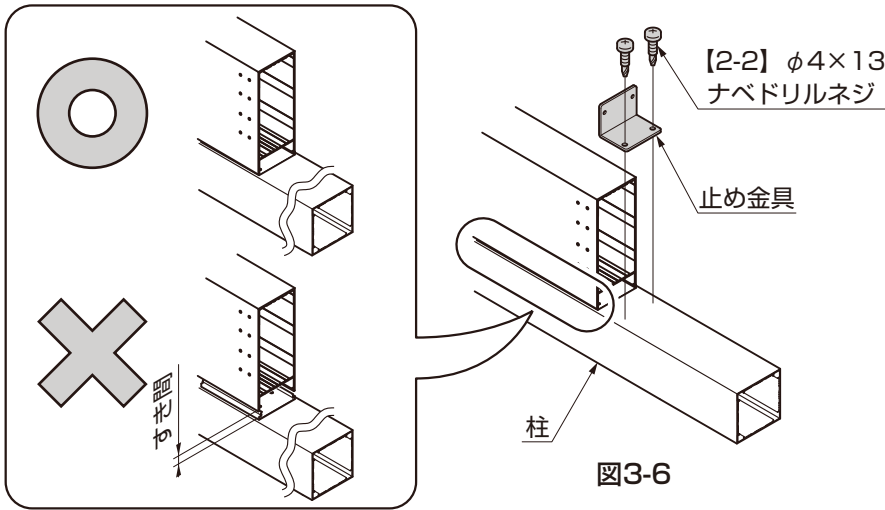
図3-5

- ①ゲートフレーム縦を柱に取付けてください。
- ②ゲートフレーム用スリーブをゲートフレーム縦に【1-2】で取付けてください。

ポイント

- 柱を施工する前に必ず行ってください。
- ゲートフレーム上端からゲートフレーム用スリーブ上端が2.5mm(*2)になっている事を必ず確認してください。

3-4 つづき



③止め金具を柱に【2-2】で取付けてください。

ポイント

- ゲートフレーム縦のズレを防止するために取付けます。上下位置を確認してください。
- 柱の施工は「Gフレーム 取付説明書 (E248)」を参考に取付けてください。

図3-6

4. ゲートフレーム横の取付け

4-1 フレーム受けの組立て

【1-3】φ4×12トラスタッピンネジ2種

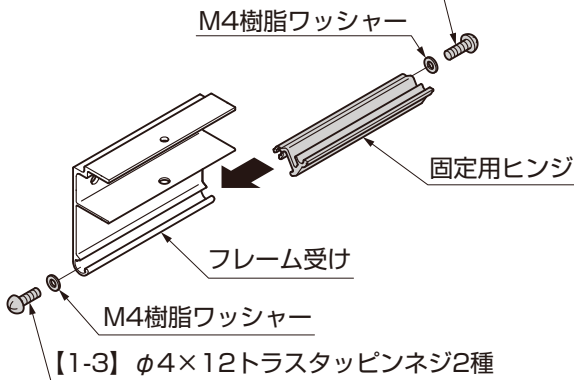


図4-1

①固定用ヒンジをフレーム受けにはめ込み、【1-3】で取付けてください。

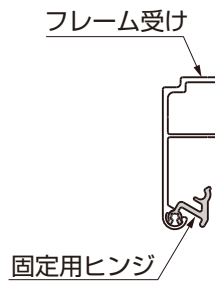


図4-2
フレーム受けの納まり

4-2 フレーム受けの取付け

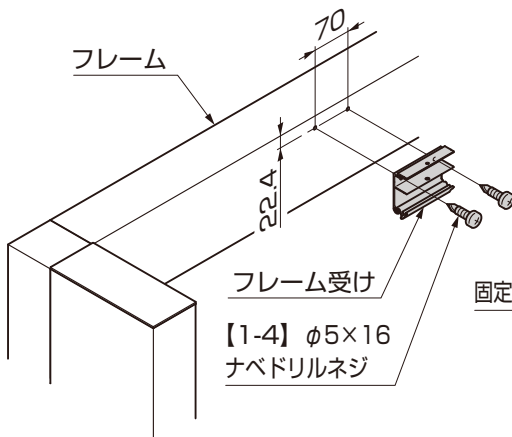


図4-3

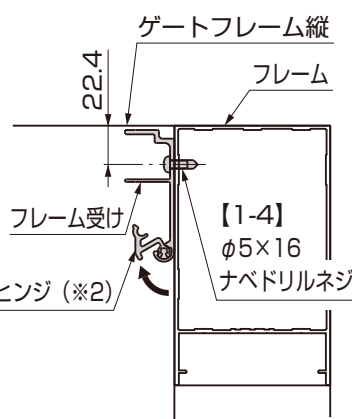


図4-4

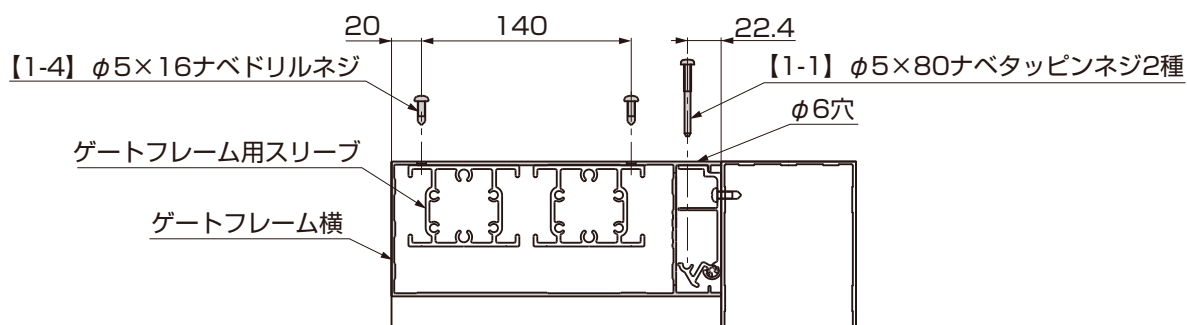
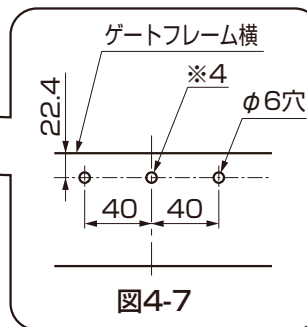
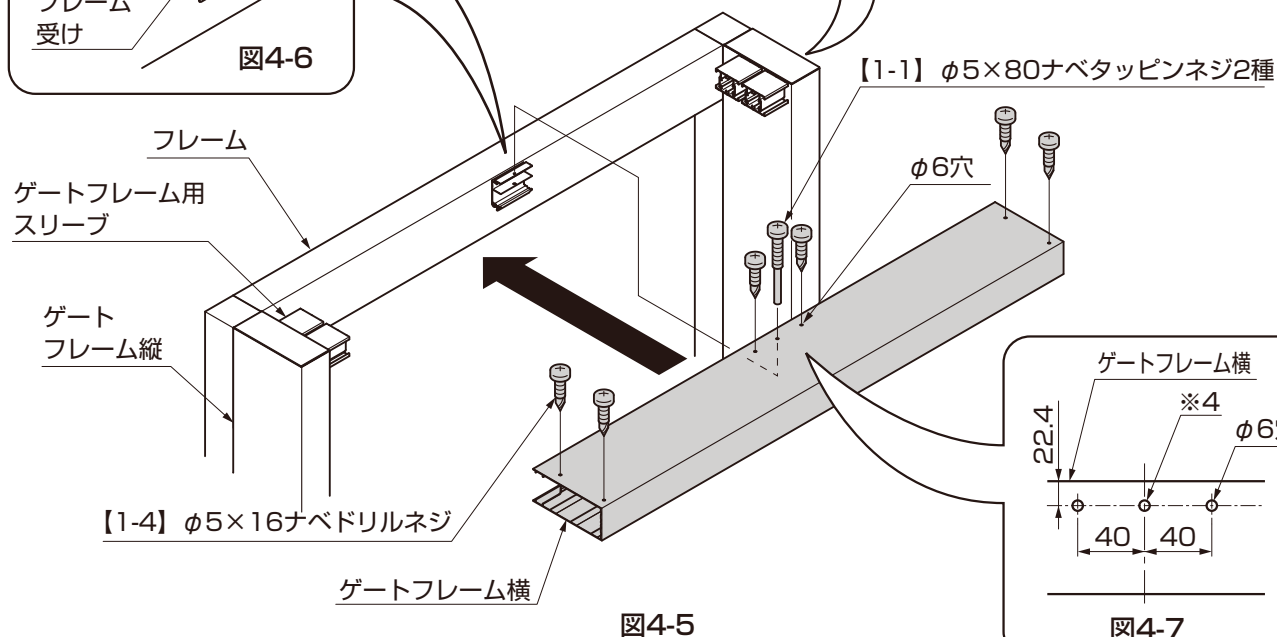
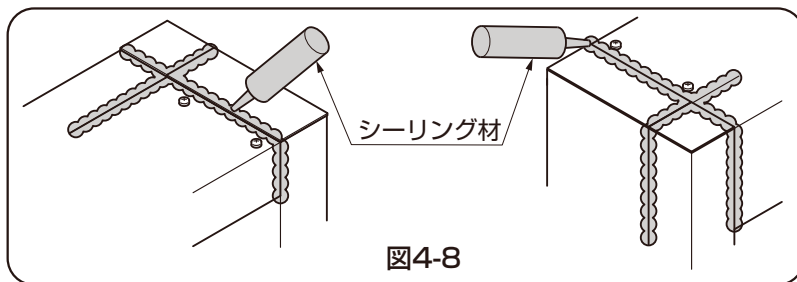
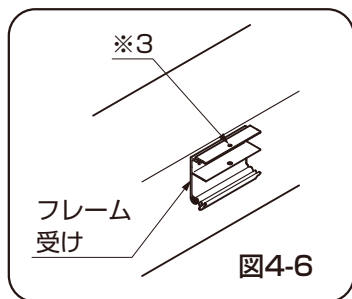
①フレーム受けをフレームに【1-4】で取付けてください。

ポイント

- 固定用ヒンジ (※2) を上側においてください。

4. (つづき)

4-3 ゲートフレーム横の取付け



①ゲートフレーム横に $\phi 6$ の穴をあけてください。(図4-7参照)

ポイント

●ゲートフレーム横への穴加工は※3の位置に合わせて※4の加工を行なってください。

②ゲートフレーム横をゲートフレーム用スリーブに【1-4】で取付けてください。

③ゲートフレーム横をフレーム受けに【1-1】で取付けてください。

④ゲートフレーム横をフレーム受けに【1-4】で取付けてください。

⑤柱、フレーム、ゲートフレーム横、ゲートフレーム縦の接合部にシーリング処理を行なってください。(図4-8参照)

取説コード

E300

JZZ620291E
201002A_1039
201607F_1039